

## 逆説としての規範的パワー：

### グローバル貿易ガバナンスと EU

明田ゆかり

慶應義塾大学法学研究科・特別研究講師

‘Economic strength at home is essential to a strong European voice in the world. And trade is indispensable to creating and sustaining this strength.’  
(Mandelson, 2006)

#### 1. はじめに

##### ● 『E U の国際政治』の論点

E U は国際政治（国際貿易レジーム）においてどのようなアクターであるのか

- 「経済的巨人・政治的小人」 「経済的・政治的巨人」
  - ◇ 転換点：単一市場プログラム、貿易レジームの変容、米国
  - ◇ 「規範的パワー」アイデンティティの登場
- 「縛られた巨人」メタファー：両者の間の必然的緊張・矛盾

##### ● 本報告の問題意識

ポスト『E U の国際政治』（2006 - 2011）に登場した新たな環境的・制度的変化、および研究動向の検討を通じ、貿易レジームにおける E U のアクター性を再検討する。

- 重商主義的（地経学的）パワー EU（近代） 規範的パワー EU（ポスト近代）
  - 「グローバル・ヨーロッパ」戦略
  - グローバル金融危機 欧州危機
  - リスボン条約の発効

貿易をめぐる国際政治は、地経学的大競争（重商主義的利益の追求と勢力圏の拡大）の時代を迎えるのか、それとも法の支配にもとづくグローバル貿易ガバナンスが定着

していくのか。

- **EUの通商戦略形成へのアプローチ** (Aggarwal & Fogarty, 2004)
  - 域内/国内利益 (リベラリズム) (Dur, 2008)
  - 制度 (新制度論) (Elsig, 2007)
  - **国際政治 (リアリズム)** (Sbragia, 2010) (Zimmermann, 2007)
  - アイデンティティ・規範 (コンストラクティビズム)研究アジェンダとしての、EUとグローバリゼーションの関係 (Egan, Nugent, & Paterson, 2010) (Meunier & Jacoby, 2010) (Jacoby & Meunier, 2010)

## 2. 「グローバリゼーションの管理」から「グローバル・ヨーロッパ」へ：重商主義パワーへのシフトなのか

- **グローバリゼーションの管理 (Managing Globalization: MG)**
  - パスカル・ラミー貿易担当欧州委員 (1999 - 2004) のイニシアチブ
    - ◇ EUの道義的責任に対する信念
    - ◇ EU市民のグローバリゼーションに対する反発への対応
    - ◇ 公式の戦略ではなくディスコース
  - 新自由主義規範の修正・法の支配・貿易外規範・民主主義・熟議
  - 2国間主義・地域主義に対する多国間主義 = DDA の優先
    - ◇ 事実上のFTAモラトリアム (1995 - )
    - ◇ 米国の「競争的自由化(Competitive Liberalization: CL)」戦略と対照的
  - EUそのものがMGのモデルという認識 = 「EUモデルの輸出」
    - ◇ EUの新たなアイデンティティを背景
      - 米国のオルタナティブ・EUモデルの成功

規範的であると同時に、EUモデルのグローバルな投影という点で、地経学的でもある。

- **グローバル・ヨーロッパ (Global Europe: Competing in the world)** 2006年10月 [Commission, Global Europe: Competing in the World, 2006] (Commission, 2010)

‘Global Europe symbolized a new era in EU trade policy and revealed the EU’s new geo-economic ambitions.’ (Sbragia, 2010)

#### 特徴：

- 欧州経済と欧州の国際競争力の強化（リスボン戦略の対外的側面）
- アジアを中心に新世代 FTA 締結に向けた交渉推進 = モラトリアム解禁
- WTO プラス
  - 関税、非関税障壁、公共調達、サービス、投資、資源・エネルギーへのアクセス、知的財産権、競争政策、衛生・植物衛生（SPS）、持続可能な開発
- 交渉優先国（経済効果基準：市場潜在力 + 対 EU 保護水準）
  - 韓国、ASEAN、メルコスール、インド、ロシア、GCC、（カナダ）

#### 背景：

- DDA の交渉凍結（2006 年 7 月）
- アメリカの CL 戦略
- BRICs をはじめとする新興国の台頭に伴う経済環境の変化
  - 多国間交渉における BATNA の低下
  - DDA におけるパワーバランスの変化

#### 意義：

- アメリカの戦略との収斂
- 原点回帰？：外交目的ではなく経済的目的追求のための通商政策
- FTA：EU の勢力圏 = EU の規範・ルール・規制・基準の対外的拡大  
重商主義的であると同時に規範的でもある。

#### ● 新通商戦略 (*Trade, Growth and World Affairs: Trade Policy as a Core Component of the EU's 2020 Strategy*) 2010 年 11 月 (Commission, 2010)

- 中期成長戦略「欧州 2020」の対外的側面
- グローバル・ヨーロッパの新世代 FTA 交渉継承
- 戦略的パートナーとの通商関係深化（非関税障壁）
- リスボン条約で獲得した排他的権限の活用（投資）

### 3. グローバル金融危機・欧州危機：二つの帰結

#### ● MG の正統性強化

- 新自由主義規範への打撃
- ヨーロッパのリーダーたちによる呼びかけ (Fioretos, 2010)
  - ◇ ブラウン：new global order
  - ◇ サルコジ：new Bretton Woods
  - ◇ メルケル：new global architecture

- ◇ バローゾ：new emerging world order
- もっとルールを、もっと規制を、そしてもっと「国家」を = 「国家の復権」
- 「EUモデル」の正統性低下
  - ユーロ危機と経済的不況 EUモデルの信頼性の失墜・ソフトパワーの喪失
  - MG と EU モデルのかい離が発生
  - MG の需要増大が EU の規範的パワー強化につながっていない

#### 4 . リスボン条約：規範的パワーへの内圧

Geostrategic and mercantilist interests, pushed particularly by the Commission, thus figure prominently in EU trade negotiations. Realist theories therefore should not be neglected when analyzing EU behavior in international trade negotiations.... If the EP obtains systematic co-decision-making in international trade, this pattern might change quite dramatically. (Zimmermann, 2007)

- 価値指向・規範的パワー強化の可能性

欧州連合条約

第5編 第1章 連合の対外行動に関する一般的規定

##### 第21条 【共通の諸原則の尊重】

第2編 民主主義原則の諸規定

第11条 2 諸機関は、代表的機関および市民社会と公けの、透明かつ定期的な対話をしなければならない。

欧州連合機能条約

第5部 連合による対外行動

第1篇 連合の対外行動に関する一般規定

##### 第2編 共通通商政策

第5編 国際協定

##### 第218条 【協定締結手続き】

- 通商政策と他の対外政策との一体化
- 一方で、「EUモデル」の対外的投影を制約

#### 5 . 終わりに（暫定的結論）

- EUにおいて重商主義的利益、EUモデル、普遍的価値は相互に密接にリンク。
- 地経学的パワーと規範的パワーを2者択一的に論じることはできない。
- 欧州議会と市民社会の関与が、両者を相互排他的関係に近づける可能性の存在。

- 当面は「構造的パワー」の獲得に専念。
- EU が秩序攪乱的パワーとなったときに、グローバル貿易ガバナンスの発展が訪れる = 「逆説の規範的パワー」
- 実証研究と理論的枠組みの精緻化・折衷主義的アプローチの必要性

## 文献目録

- Aggarwal, V. K., & Fogarty, E. A. (2004). *EU Trade Strategies: Between Regionalism and Globalism*. New York: Palgrave Macmillan.
- Commission. (2006). *Global Europe: Competing in the World*. Brussels: DG Trade.
- Commission. (2010). *Report on Progress Achieved on the Global Europe Strategy, 2006-2010*. Brussels: SEC(2010) 1268/2.
- Commission. (2010, November). *Trade, Growth and World Affairs: Trade Policy as a Core Component of the EU's 2020 Strategy*. Brussels: DG Trade.
- Dur, A. (2008). Bringing Economic Interests Back into the Study of EU Trade Policy-Making. *British Journal of Politics and International Relations*, 10: 1.
- Egan, M., Nugent, N., & Paterson, W. E. (2010). *Research Agendas in EU Studies: Stalking the Elephant*. New York: Palgrave Macmillan.
- Elsig, M. (2007). Delegation and Agency in EU Trade Policy Making: Bringing Brussels Back In. *NCC Trade Regulation Working Paper*, NO. 2007/21.
- Fioretos, O. (2010). Europe and the new global economic order: internal diversity as liability and asset in managing globalization. *Journal of European Public Policy* 17 (3), 383-399.
- Jacoby, W., & Meunier, S. (2010). Europe and Globalization. In M. Egan, N. Nugent, & W. E. Paterson, *Research Agendas in EU Studies: Stalking the Elephant* (pp. 354-374). Hampshire: Palgrave Macmillan.
- Mandelson, P. (2006, October 4). *Global Europe: Competing in the World*.
- Meunier, S., & Jacoby, W. (2010). *Europe and the Management of Globalization*. Oxon: Routledge.
- Sbragia, A. (2010). The EU, the US, and trade policy: competitive interdependence in the management of globalization. *Journal of European Public Policy*, 17 (3), 368-382.
- Zimmermann, H. (2007). Realist Power Europe? The EU in the Negotiations about China's and Russia's WTO Accession. *Journal of Common Market Studies*, 45 (4), 813-832.